

令和5年度上大久保中学校だより

上中だより

2学期特別号

令和5年12月22日(金)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 Tel.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

2023年から2024年へ!!

校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

本日、2学期80日間の終業式を迎えました。保護者並びに地域の皆様方におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。

12月12日に発表された今年の漢字は「税」（私が予想した「暑」は2位）でした。一方で、民間企業によるアンケート調査による小・中学生、高校生による今年の漢字には「楽」が選ばれたそうです。「楽」は2年連続の1位で、以下「推」、「恋」と続きます。1位の「楽」を選んだ理由として、「コロナが少し収まっているいろんな行事が本格的にできたから」など、戻りつつある学校生活を「楽しい」と感じた子どもが多かったようです。僅差で2位となった「推」は、好きな有名人や作品などを応援する「推し活」が広まっていることや、アニメ作品の流行の影響もあると分析されていました。他にも戦争を理由に「戦（4位）」を挙げる人や、気温の高さから「暑（10位）」を挙げる人もいたそうです。また、今年の新語・流行語大賞の年間大賞になった「アレ（A.R.E）」からも今年1年様々なことがあったと改めて感じられます。学校でも、体育祭や合唱コンクールに取り組む生徒たちの姿やそれを見守る教職員を始め、保護者や地域の方々の様子を見ても、普段の生活が戻ってきたことが感じられる1年となりました。来年は、今年以上に生徒の笑顔あふれる上中にしていきたいという思いでいっぱいです。

さて、今日の終業式で、喜多川 泰さんの小説から以下のような一説を紹介しました。

初詣の際の願掛けの言葉から・・・

僕は努力する

だから、それにふさわしいものを与えてください。

それ以上でも嫌だ。それ以下でも嫌だ。

僕は、自分のやってきたことにふさわしい人になりたい。



これは、今まで自分の努力が足りないのを棚に上げて、願いが叶うことばかり望んでいなかっただろうか、どうすればできるのかを考えて実行しようとせず、取り組む前からできない理由ばかりを並べて逃げていなかっただろうか、ということを考えさせられる一説でした。新しい年を迎えるに当たり、自分で立てた約束（目標）を破らない人を目指して、生徒には日々全力で勉強、学校行事、部活動等に励んでほしいと思います。併せて、「一年の計は元旦にあり」という言葉も紹介し、計画や準備が大切で、初めの計画ができていないと物事はうまくいかないという話題にも触れました。ご家庭でもぜひ話題にしていいただければ幸いです。

最後に私事ですが・・・12月31日、紅白歌合戦が終わると、必ずベランダに出て外の雰囲気を楽しみます。遠くから聞こえてくる除夜の鐘を聞き、いつもとは違う物静かな空気を感じながら、今年は〇〇だったなと振り返ります。そして、星空を見上げながら来年こそは！という思いを強くする時間としています。文部科学省が発表した2022年度の「学校保健統計調査」で、中学生の裸眼視力1.0未満の割合が61.23%だったという記事を見ました。「スマホやタブレット端末の利用時間が要因と考えられる」との話でしたが、たまには夜空を見上げ、星の観察をして目をリラックスさせてみてはいかがでしょうか？

今年一年大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

上チャレ学習アドバイザー 樋口 隆嗣 先生が 表彰されました!!

本校土曜チャレンジスクール「上チャレ」の学習アドバイザーとして活躍されております樋口 隆嗣先生が、長年の功績を称え、12月19日にさいたま市教育委員会教育長から感謝状を贈呈されました。

この感謝状は、市立学校の教育活動等の充実及び発展に寄与し、多年にわたり活動を行っている方に対して贈呈されているものです。

上チャレでは、英語を担当し、生徒の自主性を促すとともに、生徒がつまづいたときには寄り添うなど、献身的に活動され、教職員だけでなく、生徒からの信頼も厚い点が高く評価されました。

今までの功績に改めて感謝を表すとともに、今後のご活躍もご祈念申し上げます。

